

競合少ない市場で稼ぐ

2018年
6月26日

火曜日

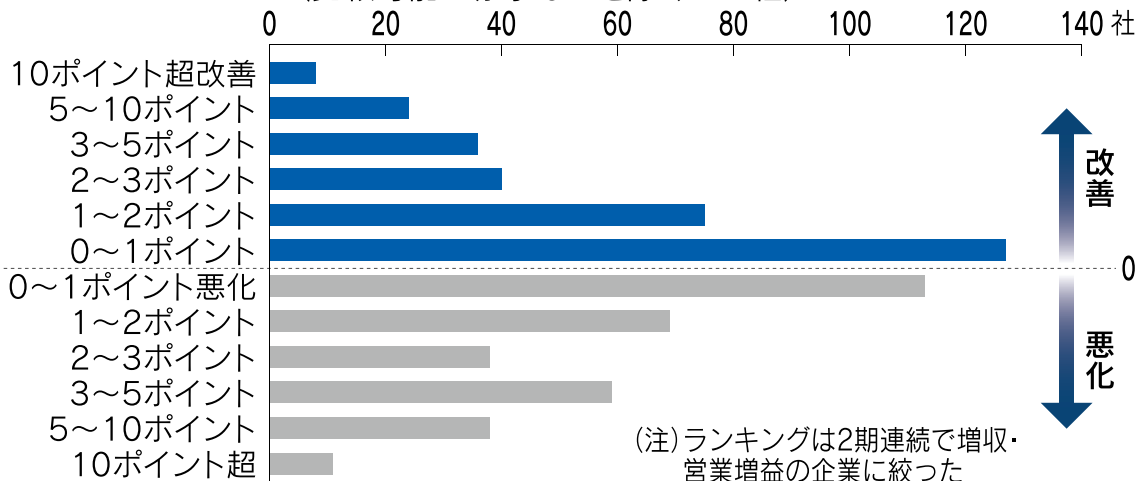
《11面》

利幅をより大きくした企業				
順位	社名	業容	売上高営業利益率の改善度 (ポイント)	売上高営業利益率 (%)
1	エプコ	給排水設備や省エネ支援	13.3	16.1
2	ランド	不動産企画販売	11.8	30.9
3	ジー・スリーホールディングス	若者向け雑貨販売	10.8	21.6
4	テセック	半導体の検査装置製造	10.2	15.4
5	アイロムグループ	臨床試験支援	7.8	12.1
6	Gunosy	ニュース配信アプリ	7.4	19.6
7	トリケミカル研究所	半導体向け化学品	6.9	24.8
8	うるる	入札情報サービス	6.5	20.5
9	北の達人コーポレーション	健康食品・化粧品販売	6.4	26.5
10	TONE	作業用工具販売	6.3	24.2

日本経済のけん引役として期待される中堅上場企業「NEXT1000」を対象に、売上高営業利益率が前年度より高く改善した企業をランキングしたところ、エネルギーや医療、半導体関連の企業が上位に並んだ。業界大手が手をつけていない、特定分野に特化した高い収益を上げている企業が目立った。業界環境の変化に対応し、新しい事業領域の開拓や同業の買収にも貪欲だ。

許諾番号30063551 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。
©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。

NEXT1000企業の売上高営業利益率改善度
(比較可能で赤字などを除く638社)



調査の概要 上場する国内企業のうち、直近の売上高が100億円以下の957社を対象(TOKYO PRO Market 上場企業を除く)。データは6月19日時点。売上高営業利益率の改善度の高い順に並べた。売上高営業利益率を比較でき、2期連続で増収・営業増益の企業に絞った(金融や赤字企業を除く)。原則として連結決算。